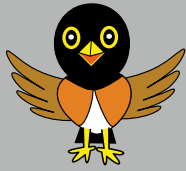


こっこめ通信 11 2017

「悪天候は週末がお好き」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

秋雨前線停滞時、定期船は順調に就航しましたが、視界が悪く飛行機の欠航が多くありました。台風21号では逆に海況不良で定期船が欠航しましたが、飛行機は頑張ってくれました。離島はすべての輸送手段が止まってしまうとモノがなくなってしまうので、どちらか来てくれると助かります。最後の週末も台風22号の通過で船・飛行機の欠航があり、島内のイベントも中止になってしまいました。なぜ、週末ばかりなのでしょう？

さて今回は、「秋雨前線の大雨から台風の強風へ」「こんな生きものを見つけました！」のお話です。

秋雨前線の大雨から台風の強風へ

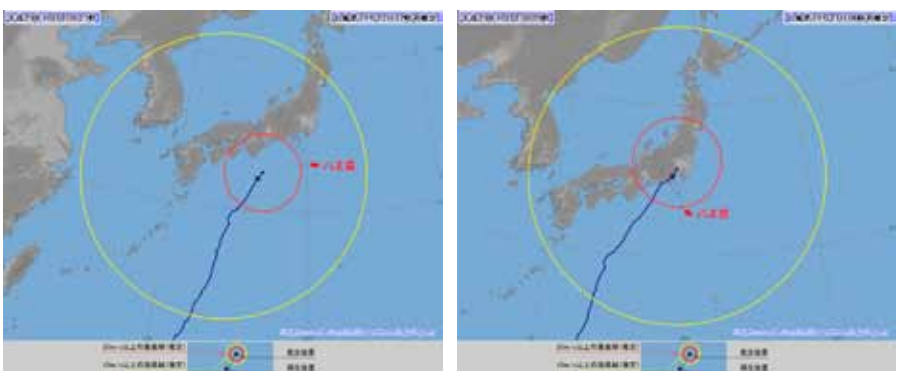
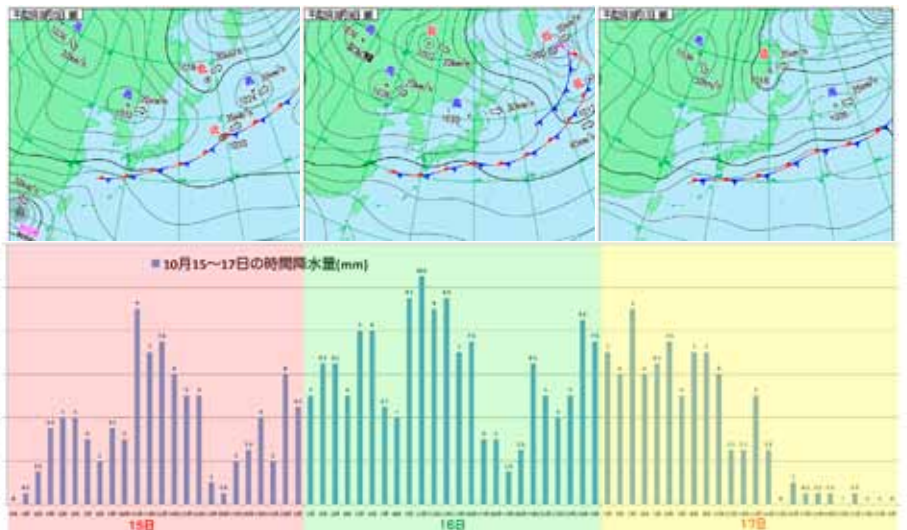
10月中旬から八丈島は荒れ模様の天候が続きました。

まず15日頃から停滞し始めた秋雨前線(右上:天気図と雨量グラフ)。北東の風が吹き続け、時間雨量はそれほど多くありませんでしたが、降り続く時間が長かったため雨量が多くなりました。15日が87mm、16日が147mm、17日が82.5mmで3日間の総雨量は316.5mmにもなりました。気温も上がらず体調を崩してしまう方も多かったようです。

さらに19日には伊豆諸島付近の前線上に低気圧が発生し雨風が強くなり、115mmの雨が記録されています。

そして勢力を増した台風21号が接近(右下:台風進路と風速グラフ)。八丈島は22日23時頃に暴風域に入り、23日6時頃まで7時間、平均風速15m/s、最大瞬間風速25~32m/sの強風が吹き続けました。午前3時54分に記録した36.6m/sの最大瞬間風速は、強い風の吹く島ではそれほどの記録ではありません。しかし、今回の台風は強風が長い時間吹き続けたことにより、建物の屋根や壁に被害がでてしまったようです。また、ほとんどの落葉樹は海からの潮風により葉が茶色に枯れ、山は緑と赤茶色の斑模様になりました。

幸いな事に大雨・強風による人的な被害はありませんでした。



「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科(旧ツグミ科)の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

こんな生きものを見つけました！

【その1 キリギリス】 島民の方が、空港滑走路脇の藪でメスのキリギリスを捕獲し、ビジターセンターに持ってきてくれました。採集したという場所に行ってみると「ギース、ギース・チョン」と独特な鳴き声が数ヶ所で聞こえました。持ってきてくれた方の話によると空港の敷地内からも聞こえていたとの事。局所的ですが広範囲に生息しているようです。過去に八丈島では記録が無く、「バッタ・コオロギ・キリギリス大図鑑」の伊豆諸島の分布表にも載っていないので他の島でも記録が無いようです。最近の研究により、発音器の大きさや前翅側面の黒斑などから「ニシキリギリス」と「ヒガシキリギリス」に分けられるようですが、今回の個体は体の色や発音器からニシキリギリスでしょうか？ いったい、いつ・どこから・どうやって島に入ってきたのか謎です。



【その2 ウオノエの仲間】 水槽展示用にオオスジイシモチの幼魚を採集し、水槽内で飼育していたところ6匹の内3匹の口の中にふたつの黒い点が見えました。よ〜く見てみるとそれは眼！オオスジイシモチの口の中にいたのは寄生したウオノエの仲間でした。寄生されていたオオスジイシモチもちゃんとエサを食べていたので気にしていなかったのですが、ある日、水槽を泳ぐウオノエを発見！ウオノエはオオグソクムシの仲間なので少し似ていますか？採集したウオノエは研究者へ送る事になりました。でもまだあと1匹、口の中にいますよ！



【その3 セスジクビボソハムシ】 夏の終わり、公園内を歩いていた時にふと足下のメヒシバの葉を見ると虫に喰われた跡がたくさんありました。食べた主を探しましたが虫の姿はなく、糞のようなものだけが付いていました。翌日さらに探してみると背中に1本の黒い線のあるクビボソハムシの仲間を見つけました。撮影し、調べてみると「セスジクビボソハムシ」である事がわかり、さらに調べると幼虫の時に自分の糞を背負う！との事。そうです、始めに見た糞のようなものは幼虫（写真右）だったので。なんだかとてもスッキリしました。このハムシもビジターセンターで調べたリストには無く、初記録種となっています。



八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は 10月8日(13時30分～15時)に行いました。

八丈植物公園季節調査(平成29年第10回) 調査者: 沖山美、永井、VC 菊池

NO.	和名(島名)	状態	NO.	和名(島名)	状態	NO.	和名(島名)	状態
草本			35	ヌメリグサ	実	17	ヒメユズリハ	実
1	アオツツラフジ	実	36	ネズミノオ	実	18	ホウライカズラ	実の虫こぶ
2	アオノクマタケラン	実	37	ノコンギク	蕾	19	ホルトノキ	実
3	アキノノゲシ	花	38	ハイメドハギ	花	20	マサキ	実
4	アシタバ	花と実	39	ハチジョウシュスラン	花	21	ミツバアケビ	実
5	イガガヤツリ	実	40	ヒナギキョウ	花と実	22	ヤブニッケイ	実
6	イヌタデ	花	41	ヒノキバヤドリギ	花			
7	イワニガナ	花	42	ヒメクグ	実	シダ植物		
8	ウスベニニガナ	花と実	43	ヒメムカシヨモギ	花と実	1	アラゲヒメワラビ	
9	ウリクサ	花と実	44	ヒメヨツバムグラ	花と実	2	イシカグマ	小株が増加
10	エダウチチヂミザサ	花	45	フウトウカズラ	実	3	ウチワゴケ	
11	オオアレチノギク	花と実	46	フタバムグラ	花と実	4	オオイタチシダ	
12	オオバコ	実	47	ホソバツルメヒシバ	実	5	オオタニワタリ	
13	オニタビラコ	花と実	48	ママコノシルヌグイ	花	6	オニヤブソテツ	
14	カタバミ	花と実	49	メナモミ	花と実	7	カニクサ	胞子葉
15	カヤツリグサ	実	50	メヒシバ	実	8	シチトウハナワラビ	若い胞子葉
16	カラムシ	実	51	メリケンカルカヤ	花	9	タチクラマゴケ	
17	コセンダングサ	花				10	タチシノブ	栄養葉
18	コニシキソウ	花と実	木本			11	タマシダ	
19	コミカンソウ	花と実	1	イタビカズラ	実	12	ナンカイイタチシダ	
20	ザクロソウ	花と実	2	イヌビワ	実	13	ノキシノブ	
21	シマササバラ	実	3	イヌマキ	実	14	ハカタシダ	
22	シマスズメノヒエ	花と実	4	エノキ	実	15	ハチジョウカナワラビ	
23	シマボロギク	花	5	オオバヤシャブシ	実	16	ハチジョウシダ	
24	ススキ sp.	花	6	オオムラサキシキブ	若い実	17	ヒトツバ	
25	タチスズメノヒエ	実	7	ガクアジサイ	実	18	ホシダ	
26	チチコグサ	花	8	キツタ	花	19	マツバラ	
27	チヂミザサ	花	9	シチトウタラノキ	花と実	20	マメツタ	
28	チャガヤツリ	実	10	シマクサギ	花	21	ミウライノデ	新発見小株
29	ツククサ	花	11	スダジイ	実の虫こぶ	今回はシダ植物21種を含む94種の植物を観察しました。植物公園もすっかり秋の様相で、草むらではコオロギが鳴き、キノコのツチグリも観察できました。		
30	ツルソバ	花	12	テイカカズラ	実			
31	テンツキ	実	13	トベラ	実			
32	トウバナ	実	14	ハゼノキ	実			
33	ナキリスゲ	実	15	ハチジョウキブシ	花芽			
34	ニワホコリ	花	16	ヒサカキ	蕾と実			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、「ヒサゴクサキリ」にスポットを当ててみたいと思います。



ヒサゴクサキリ *Palaeoagraecia lutea*

キリギリス科ヒサゴクサキリ属。本州・四国・九州・対馬・利島・神津島などに分布しています。八丈島では2013年8月に初めて記録され、2017年9月に再度確認されています。

メダケやマダケなどの竹林で見られ、前胸背板の濃褐色の“ひさご(瓢箪)”模様や顔の緑色の模様などが特徴です。

2017 11

八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
	 この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります		1	2	3 ガイドウォーク	4 ○ ガイドウォーク
5 ガイドウォーク 東京文化財ウィーク企画 「北限のへゴを訪ねて」	6	立冬 7	8	9	10	11 ◐ ガイドウォーク
12 ガイドウォーク 植物公園季節調査会	13	14	15	16	17	18 ● ガイドウォーク
19 ガイドウォーク	20	21	小雪 22	23 ガイドウォーク	24	25 ガイドウォーク 八丈学講座 「護神山公園自然観察会」
26 ガイドウォーク	◑ 27	28	29	30		

イベントプログラム

東京文化財ウィーク企画事業
「北限のへゴを訪ねて」

鴨川林道を歩きながらシダの観察をして、大川にある北限のへゴも見に行きます。
11/5 (9:30～ 約6時間) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 参加費：500円(保険代) 定員：20名

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
11/12 (13:30～ 約1時間半) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

八丈学講座
「護神山公園自然観察会」

毎月行っている八丈学講座。旧町役場近くにある護神山で植物や鳥などを観察しましょう！
11/25 (13:30～ 約1時間半) 中学生以上
旧町役場駐車場集合・解散：50円 定員：15名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち
11:00～ おじゃりやれ 八丈島
14:00～ おじゃりやれ 八丈島
15:00～ おじゃりやれ 八丈島
16:00～ 八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2017.11.1 第198号

開館時間 9:00～16:45 年中無休(入場無料)
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888
E-mail：info@hachijo-vc.com
http://www.hachijo-vc.com

編集後記

台風22号のお話を書けなかったのがこちらに。21号よりは島の近くを通過しましたが勢力が強くなかったためそれほど影響はありませんでした。それでも暴風域を伴った台風である事に変わりなく最大瞬間風速は29.8m/s吹きました。21号が凄すぎて感覚が麻痺した？(高)